

---

# カレカノ

山中 千里

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

カレカノ

### 【Nコード】

N9923Y

### 【作者名】

山中 千里

### 【あらすじ】

親友の春菜は主人公のはるかに嫉妬してー…?!

## 嫉妬の思い

そういえば、私、主人公の名前を言うのを忘れてた。

私の名前は飯田 はるか。

春生まれだからかな。

私1週間風邪で寝込んでしまったの。

親友の春菜は昨日お見舞いに来てくれた。

春菜は私にとって大切な存在。

だからお互い信じあってるんだと思う。

今日は待ちに待ったクラスで遊園地なの！

昨日ギリギリ風邪が治って安心したんだけど、

春菜が今日は朝からなんか冷たいの。

無視されてる感じ。

私、なんかした？

「はい、みんな集まってー！学級委員、みんないるか人数数えて  
！」

私、そういえば学級委員だったっけな。

めんどくさいな。

「はい(。o。)/」

もう一人の学級委員は春菜の彼氏、和也くん。

なんか最近縁があるみたい。

「1、2……きゃっ！」

誰かと強く肩がぶつかった。

誰？

私が振り向いた後ろには春菜しかいない。

もしかして…春菜？

私はずっと見てみると、春菜がこっちに気づいてほほえんだ。

「どづしたの？はるか」

やっぱり…気のせいかな？

確かに春菜があんなことするわけないよね。

だって私たち親友だもん。

そう、信じてても……いいんだよね？春菜……。

「何へラへラ笑ってんのよ。……………絶対、不幸にしてやるんだから。」

「じゃあみんな揃ったことだし、バスに乗りましょー！その前にバスの席替えをしまーす！」

えっ男女で隣ですか？！

春菜には悪いけど和也くんと隣になれますよーにつ！

「八番…か…」

「じゃあ、自分の席のところ座ってね！酔っ子は窓側にしてあげてねー！」

ああ〜私酔っんだった。

仕方ない。

和也くんじゃなくても触らなければ大丈夫だから。

でも遊園地楽しみだなあ。

観覧車乗りた……

「はるかちゃん？」

えっ隣、和也くん？！

春菜ごめんなさいッ。

でもよかったあ。

「……………」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9923y/>

---

カレカノ

2011年11月29日23時50分発行